

ガ而シ前回(本誌第三卷第八號)ニ述ベタ通り和産蛇床子ガやぶじらみノ實デアアルカラ今更コレヲ鶴虱ニ充テルワケニハ行カヌやぶじらみハ矢張り竊衣トシ其實ハ竊衣子又ハ和産蛇床子トシテ差支ナイ又滿洲産鶴虱ト云フモノヲ見タコトガアルガ此物ハ全クやぶたばこヤやぶじらみノ實デモナク又鶴虱ニフサワシイ形體デモナイ、ソコデ自分ノ寡聞デハ鶴虱ノ充テ様ガナイ、フト知人ガ鶴虱ト云フヲ賣ツテ居リマスガ如何デアルト云フテ持參シタ生藥ヲ調ベル機會ガ來タ、ソレヲヨクシラベテ見ルトやぶじらみ、はまぜりヤやぶたばこデモナイガ繖形科ノ植物ノ實ラシイ形デアッタ、ソコデ其斷面ヲ檢鏡シテ見タ處ガ愈繖形科ノモノト定マリ而モ夫レガにんじん(胡蘿蔔)ノ實ニソツクリデアッタ、種子商ヨリ購入シタ胡蘿蔔ノ種ト構造ガ同一デアッタ、コレヲヨク見ルト其外形ハ虱ヲ想像スベキ形體デアアル胡蘿蔔ノ種子ヲ鶴虱トシテ適用スルカドウカ分ラヌガ此興味アル出來事ヲ紹介シテ同好ノ士ヨリ何等カノ「ヒント」ヲ得タイ希望カラ本誌ノ紙面ヲ拜借致シタ次第デアル

○南洋諸島ノまんぐろーぶ

藥學博士 刈 米 達 夫

まんぐろーぶ(Mangrove)ハ熱帶ニ於テ最モ特異ナル景觀ヲ呈スル植物群落ノ一デアツテ我が委任統治領タル南洋諸島ニモ到ル處發達シテ居ル、まんぐろーぶノ雛型ダケハ我國内地タダ一個處ノめひるぎ(Kandelia Rheedii W. et A.)群落ヲ鹿兒島縣揖宿郡喜入村附近一帯ノ地ニ於テ見ルヲ得ベク、更ニ本モノニ至リテハ有名ナル臺灣高雄(舊名打狗)港内ノ群落アリ、蘭領ボルネオ及ビスマトラ島ニ於テハ海岸數哩ノ廣サニ繁茂セル密林アリトイフニ至ツテハ正ニ世界一トナスベキモノデアラウ、我國ニ單寧原料トシテ輸入セラレ漁網ノ褐色染料トシテ屢々用ヒラレル「カッチ」Cutch トイフモノハ多ク此ノボルネオ及ビスマトラ島ニ産シまんぐろーぶノ樹

ボナベ島ハ嘗テ一九〇五年破壊的ノ大暴風ニ襲ハレ殆ンド總テノ大木ハ吹キ折ラレ現在ノ植物ハ皆其後ノ生長



ボナベ島ナット村附近ノまんぐろーぶ林

主トシテ *Sonneratia acida* BENTH. ヨリ成ル

皮ヲ水ニテ煮出シ煮詰メテ製造セル越幾スデアル

我ガ南洋諸島ハ世界ニ有名ナル珊瑚礁ノ本場デ其環礁ニ圍マル、礁湖ハ波靜カナル爲メまんぐろーブノ定着ニ適シ、殊ニボナベ及ビトラツクノ兩島ハ海岸泥土ニ富ム爲メ最モヨクまんぐろーブガ發達シテ居ル、ヤルト島ハ全然火成岩の素因ヲ有セズ海岸泥土ニ乏シキ爲メ又サイパン島ハ外海ノ荒波ヲ防グベキ裾礁又ハ環礁發達シ居ラザル爲メ何レモまんぐろーぶ樹林ハ貧弱デアル、バラオ、ヤップ、クサイノ諸島ニハまんぐろーぶ林發達シ居ル由ナルモ余ハ訪問ノ機會ナカリシ爲メ其狀況ヲ知ラナイ

ボナベ港外ニアルタカチク島トイフハ週回一里ニ餘ル島デア
ルガ陸地ヲ有セズ全クまんぐろーブノ集團ヨリ成ル處ノ海上
ニ浮ベル森林デア
ル、此ノ中ニ一脈ノ水路恰モ運河ノ如ク貫
通シ丸木舟ヲ通ズル、余一日此中ニ遊ブニ奇鳥樹上ニ囀ヅリ
珍魚まんぐろーブノ根ヲ潜リテ泳ギマハリ誠ニ世界ノ異境デア
ッタ

トラツク島夏島(支廳所在地)ノ海岸モ亦見事ナまんぐろー
ぶ林ヲ形成シテ居リ恰モまんぐろーブ標本園ノ觀ガアッタ、

南洋諸島ノまんぐろーぶ



(トラック島熱帯森林赤松会氏奉贈)

トラック島夏島ノおほぼひるぎ

Rhizophora mucronata LAM.

ニ係ルモノデアル從ガツテまんぐろーぶ
 ニモアマリ大木ハ無イ然ルニトラツク島
 ニ於テハ近年斯ノ如キ風害無カリシ爲メ
 隨分大木ガアル、此邊最モ多キハおほぼ
 ひるぎ (*Rhizophora mucronata* LAM.) デ
 樹梢群ヲ抽キ五間位ニ達スルモノモアル
 枝ノ高處ヨリ氣根及ビ支柱根ヲ垂下シテ
 居ル様ハ誠ニ奇觀デアル、種子ハ熟後
 樹上ヨリ落下セズシテ其儘發芽シ長サ一
 一・五尺ニモ達スル棒狀、先端尖レル根
 ヲ伸長シテ蠟燭ヲブラ下ゲタ様デアル、

偶々干潮時ニ落下シタモノハ恰モ人ガワザワザ植エタ様ニ器用ニソコラ一面ニ泥上ニ突キ立ッテ居ルノヲ見ル
 本種ハ此邊ノまんぐろーぶ中最モ海岸ヨリ遠ク迄、即チ深處迄繁殖シテ居ル

をひるぎ (*Bruguiera gymnorhiza* LAM.) モ亦甚ダ多イ此樹ハ前種ヨリ概シテ小サク氣根ヲ垂下セズ幹ノ下部
 ヨリ突ツカイ棒ノ如ク多數ノ支柱根ヲ斜メニ下ニ出シテ居ル、樹上ニ發芽シ垂下セル根ハ長サ五―七寸デ前種
 ヨリ短大、稍有稜デアル

やまぶしきノ一種 (*Sonneratia acida* BENTH.) モナリ大木ニナリ建築材トシテ重用セラレル、處々本植物ノ純
 林ヲ見ル、本種ハ前二種ヨリモ更ニ海水淺キ處ニ繁殖シ土中ヨリ長圓錐形長サ一―二尺ノ呼吸根ヲ直立シ其狀
 筍ノ生エタル如クデアル

Xylocarpus granatus KOEN. ハ此邊ノまんぐろー中唯一ノ複葉所有者デアル、果實ハ直徑四―五寸ニ達スル球形デ甚ダ重ク英名 Canon ball tree ト呼ブ、根ハ帶狀扁平デ地表ニ直角ヲナシ幹ノ根元ヨリ四方ニ輻射狀ニ蛇走シ軟キ泥土中ニアリテヨク樹幹ヲ安定ナラシムルニ適シテ居ル
あかばなひるぎもべち (*Turnitzera coccinea* W. Fer A.) ハ氣根モ支柱根モ無ク樹モ比較的細小デ花ハ小形紅色デメシイ

此邊ノ島民ニ聞クニまんぐろーハ六種アリトイフ、ソレデハ上記五種ノ他ノ一種ハ何カト枝ヲ取り來ラシメルニちさしますはうぎ (*Heritiera littoralis* DRYAND.) ヲ持ッテ來タヨク注意シテ見ルトナルホド陸地ニモアルガ又屢々潮汐地ニモ生ジテ居ル、英名モ Red mangrove トイフ
此他につばやし *Nipa fruticans* THUNB. モ亦まんぐろート同列ニ紹介シテヲク、屢々海水中ニ生エテ居ル、總テまんぐろーブノ材ハ天然ノ必要上「タンニン」ヲ多量ニ含有シ腐朽ニ抗スル性質大ナル故建築材ニ賞用セラレルガ此ノにつば椰子ノ葉ハ又屋根ヲ葺クニ理想的デアッテ普通ノ椰子ノ葉デ葺イタ屋根ハ一年ト保タナイガにつば椰子ノ屋根ハ何年デモモットイフ年中裸體デ暮シ腰ニやまある (*Hibiscus tiliaceus* L.) ノ皮デ造ッタ養ヲマトヒ食フニハ山ニばんのきの實 (*Artocarpus incisa* FORST.) アリ、衣食住ニ充テ足レル彼等ノ生活ハ幸ナル哉

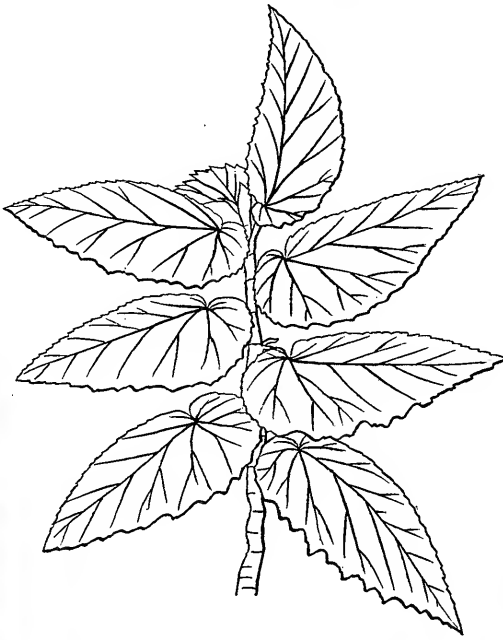
上記諸植物ノ所屬科及ビ土名ハ左ノ如クデアル

(學 名)	(和 名)	(科 名)	(ポナベ土名)	(トラック土名)
<i>Rhizophora mucronata</i> LAM.	おぼびひるぎ	ひるぎ科	アーク	アート
<i>Bruguiera gymnorhiza</i> LAM.	をひるぎ	同上	シヨーム	オン
<i>Sonneratia acida</i> BENTH.	――	やまびしり科	コト	――

非相稱ノ葉ニツミ

Xylocarpus granatus KOEN.
Lumnitzera coccinea W. ET A.
Nipa fruticans THUNB.

○非相稱ノ葉ニツミツ



Begonia maculata RADDI. (第一圖)

あかばなひるぎもとこ
にっぱやし

せんだん科
しくんし科
しゅろ科

ブロック
ウインガル
ブノブン
ウエイ

東北帝國大學理學部、助教授、理學士 岡田 要之助

植物ノ葉ハ大概左右釣り合ッテ相稱的ニ出來上ッ
テ居ルノガ普通デアルガ中ニハ風變リノモノモ
有ッテ右ト左トガ全ク不釣り合ヒノモノモ尠クナ
イ、誰モ知ル通りしうかいだうノ葉ナドハンノ
著シイモノデアルガドウシテ此ンナ葉ガ出來タ
モノカソレハサテ措キ此ノ非相稱的ノ葉ノ形ハ
オ互ニ重ナラヌヨウ陰ニナラヌヨウ具合ヨク並
ブノニ都合ヨク、日光ヲ受ケル爲ニハ案外便利
デアルト書物ニ載セテアルノヲ見ル、日本ノし
うかいだう等デハドウモ一寸受取り兼ネルガ舶
來ノ種類デハナルホドソウカシラト思ハレルモ
ノモアル、タトヘバ圖ニ示シタ Begonia macu-
lata RADDI. ナドデハタシカニソウダロウト思